



DACS-2500D-CNT-ISO 汎用デジタル出力

平成21年 7月 7日

カウンタユニット DACS-2500D-CNT-ISO は、内部に使用している基板 DACS-2570-C の部品実装上の都合により、DACS-2500-CNT で使用可能なbit11～bit1を、汎用デジタル出力として利用することができません。
(注) bit0はテスト用パルス出力となっています。

汎用デジタル出力bit23～bit12については、Mコマンドにてカウンタを動作させると、この後は、これらのデジタル出力は、分周出力およびテスト用のパルス出力となりますので、結果的に、汎用デジタル出力は全く利用できないこととなります。

この問題に対処するため、DACS-2500D-CNT-ISO では、デジタル出力コマンドのWコマンドを受信すると、その後にMコマンドを受信しても、汎用デジタル出力bit23～bit12が、Wコマンドにて指定した出力となるように、2009年7月以降出荷分より改訂しました。(注)この改訂にて、カウンタ動作には何ら影響はありません。

汎用出力bit23～bit12 を、汎用デジタル出力として利用する場合

電源投入後、カウンタ用Mコマンドを送信する前に、デジタル出力用のWコマンドを、少なくとも1回、転送するようにしてください。

汎用出力bit23～bit12 を、カウンタ機能の分周出力などに利用する場合

デジタル出力用のWコマンドを転送しないようにしてください。

この改訂は、
汎用デジタル出力のbit数が制限されている DACS-2500D-CNT-ISO のみに行っています。このほかのカウンタ基板、カウンタユニットについては、改訂はありません。

製造販売

ダックス技研株式会社

〒709-1203 岡山県岡山市南区灘崎町西紅陽台1-58-650

TEL 08636-2-0366 FAX 08636-2-0395

ホームページ <http://www.dacs-giken.co.jp>